

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課（内線：7932）

2目 文化財保護費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業	32,629	43,695	△11,066	7,252		102	25,275	
トータルコスト	57,640千円（前年度69,379千円）〔正職員：3.1人、非常勤職員：11.0人〕							
主な業務内容	調査研究計画立案、関係者との協議調整、データベース作成、報告書作成、海外との調査研究交流、レプリカ作成、講座・ミニフォーラムの開催、脳・人骨の研究							
工程表の政策目標	—							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報を県民に情報発信するため、出土品の調査研究と海外調査などを行い、出土品の活用を図る。								
2 事業の内容								
区分	予算額	事業内容						
出土品の調査研究	25,384	○木器、骨角器、金属器、土器、石器の調査研究（データベース作成） ○金属器研究報告書作成 ○骨角器に関する普及啓発パンフレット作成						
海外との調査研究交流	1,052	○海外（主に韓国）の出土遺物・遺跡立地環境等との比較研究						
出土品のレプリカ作成	3,728	○保存処理後でも展示に耐えられない骨角器のレプリカ作成						
青谷上寺地遺跡弥生講座 関連事業	1,407	○青谷上寺地遺跡の発掘調査や出土品の調査成果を地元の方々を主対象に情報発信 ・土曜講座（偶数月第2土曜日に計5回開催） ・ミニフォーラム （調査研究成果について、よりグローバルな視点で専門的に情報発信する。外部講師と職員による対話や討議を通じて、来場者により分かりやすく情報を伝えるため、フォーラム形式で行う。）						
脳、人骨等の研究	1,058	○弥生人の脳を氷温庫で保管。						
計	32,629							